

あなたは匿名ではない

選ばなかった信頼

分かりやすく言うと：あなたのメールアドレスがあれば、あなたがどこにアカウントを持っているか、時には顔写真や名前まで、誰でも数秒で突き止めることができる。これはバグではなく、インターネットの通常の機能だ。問題は、彼らが見ることができるかどうか（実際に見ることができる）ではなく、あなたが誰を信頼せざるを得ない状況にあるかということだ。そして、間に誰も介在しない場所は一つしかない。それは、端末から端末へ直接話すことだ。

メールアドレスが一つあれば十分だ。あなたのものである必要はない。誰のものでもいい。合法で公開されており、誰でも探せる無料のツールにいくつか入力するだけで、数秒でリストが表示される。そのアドレスがどのサービスに登録されているか、時にはプロフィール写真、時には持ち主が誰にも教えていないはずの名前と苗字まで。専門知識は必要ない。パスワードを破る必要もない。犯罪を犯すこともない。それらの情報はすべて、公開され、登録され、あるいは流出しており、誰かがそれをまとめる手間をかけるのを待っていただけなのだ。

これを欠陥、すなわち誰かが修正すべき穴や不注意だと解釈したくなるかもしれない。しかし、そうではない。これはオープンなウェブの正常な機能だ。サービスに登録し、フォームに記入し、レビューを投稿し、あるいは他人のデータ流出に巻き込まれるたびに、あなたは痕跡を残している。それらの痕跡の一つ一つは、単独では深刻なものではない。問題があるとすれば、それはそれらを結びつけることから生じる。そして、結びつけることは簡単なのだ。

ここで多くの人が、「私には隠すようなことは何もない」「私は自分のアカウントを管理している」というもっともな言葉で自己防衛する。前者は、隠れることと選ぶことを混同している（これについては後述する）。後者は、その痕跡の大部分をあなたが残したわけではないことを見落としている。企業登記簿、情報漏洩に遭ったウェブサイト、あなたとの写真をアップロードしてタグ付けした知人が残したものだ。インターネット上の匿名性は、あなたが所有できる特性であることはほとんどない。せいぜいのところ、誰もまだわざわざ見ようとしていないという一時的な事実を過ぎない「不透明さ」なのだ。

ここまでは、一人の人間が数秒で手作業でできることについて話してきた。では、その人間を排除してみよう。長年にわたり私たちのほとんどを守ってきたのは匿名性ではなく、無関心だった。あなたを見つけるためには、誰かがわざわざ見ようとしなければならない。そして、誰も全員を見る時間は

ない。その最後の壁、すなわち「見るための労力」こそが、機械にはないものだ。自動化されたシステムは、特定の標的ではなく集団全体に対して、一度だけでなく休むことなく、疑いからではなくデフォルトで、同じデータの照合を行うことができる。かつて調査員が一人につき数時間かけていた作業が、誰の時間も注意も奪うことなく、同時に何百万人に対しても行われるようになった。誰がそれを望んでいるのか（企業か、グループか、国家か）を推測する必要はない。もはや「誰を見るか」を選ぶ必要がないことを理解すれば十分だ。全員を見ることができるのだ。

だからこそ、「彼らは私を見つけることができるか？」というのは間違っただけだ。答えは「はい」であり、今後ますますそうなるだろう。有用な問いは別にある。「接続された状態で生きるために、私は誰を、どの程度信頼せざるを得ないのか？」ということだ。なぜなら、それこそがあなたが毎日、ほとんど無意識に行っていることだからだ。登録したサービスがデータを適切に保管してくれると信頼している。通信事業者が通話を盗聴しないと信頼している。みんなが使っているメッセージングアプリ（例えばWhatsApp）が、その宣言通りのことをしていると信頼している。間にあるサーバー、それを管理する企業、その国、誰かがネット上に公開した無料ツールを信頼している。それらのつながりの一つ一つが、信頼の決断なのだ。違いは、あなたがそのほとんどを意識的に決断していないことだ。それらは最初から組み込まれていた。あなたと相手の間に忍び込むそれらのつながりは、専門用語で「信頼できる第三者（intermediarios de confianza）」と呼ばれる。その名前よりも重要なのは、彼らがそこに存在し、しかも多数存在するという事実だ。

これらすべてを確認する誠実な方法がある。自分自身でやってみることだ。私たちが何かを提供する必要はない。ブラウザを開き、3、4の単語（例えば「インターネットは私のメールについて何を知っているか」のようなもの）を入力すれば、ウェブ自体が目の前にツールを提示してくれる。その手軽さこそが答えの半分だ。もしあなたが10秒でそれらを見つけられるなら、誰でもあなたが彼らについて言っていることを見つけることができる。

私たちが独自のリストを提供しないのは意図的なものだ。もし提供すれば、あなたは私たちを信頼しなければならない。私たちが正しく選んだこと、それらのページが5年後も信頼できること、背後に（今日であれ明日であれ）悪意のある者がいないこと。私たちが管理していないページについて、その約束をすることはできない。守れない約束はしないほうがいい。それこそが、この記事が伝えたいことだ。しかし、自分で検索することには代償がある。検索エンジンは、合法的なものと同様に区別しない。本物のツールを模倣し、メールアドレスを入力させてそれを奪うページを作るとは非常に簡単だ。だから、どこかに何かを入力する前に、アドレスの読み方を知っておくべきだ。

注記 — 信頼する前にアドレスを読むこと。 偽のページは、本物のページを1ピクセル残らずコピーすることができる。しかし、そのアドレスを偽造することはほとんど不可能だ。サイトに何かを入力する前に、ページではなくアドレスバーを読もう。重要な名前は、最後の部分（.com、.org、.jpなど）のすぐ左側にある名前だ。anzen-na-ginko.henna-saito.topの場合、本当の所有者はあなたの銀行ではなく、henna-saito.topだ。文字の入れ替え（oの代わりに0）、余分な単語、予期しない場所にあるハイフン、奇妙な語尾には注意しよう。南京錠のマークとhttpsは、通信が暗号化されていることを示しているだけであり、所有者が誠実であることを示しているわけではない。詐欺師も南京錠を持っている。そして、「広告」とマークされた最初の検索結果は、誰かがお金を払ったからそこにあるのであり、信頼

できるからではない。これらの確認はすべて、本質的には同じ問いに帰結する。「私はこのアドレスをどの程度信頼しているのか、そしてそれはなぜか？」

ここまで来れば、これらすべてと正反対のもの、すなわち仲介者のいない経路について説明するべきだろう。山の頂上で二人だけで話している人々。郵便屋も、交換局も、サーバーも、企業も、国も間に存在しない。しかし、注目してほしい。そこでも信頼は消え去らない。相手に秘密を話すなら、あなたは相手を信頼している。その信頼を取り除くことはできないし、その必要もない。なぜなら、それこそがあなたが本当に選んだ唯一の信頼だからだ。あなたは、誰を、なぜ信頼しているかを知っている。

山に存在しないのは、それ以外のすべてだ。間には誰もいない。そして、これこそがデジタルの世界で誠実に再現できる唯一のモデルだ。途中で何もなく、誰もいない、デバイスからデバイスへの直接の経路。それは信頼を排除するわけではない（そう言うのは嘘になる）。仲介者を排除するのだ。それはあなたを、あなたが自ら選んだ、不可避な唯一の信頼と二人きりにする。ついでに言えば、これこそ私たちがこれらのページを構築する基盤となるアーキテクチャだが、この主張は誰が構築しようともそれ自体で成立する。

だから、あなたは匿名ではないし、今後も匿名になることはないだろう。しかし、それは決して重要な戦いではなかった。誰かを信頼することなく生きる（あるいはネットサーフィンする）ことはできない。それを試みる者は、より自由になるのではなく、より孤独になるだけだ。成熟とは不信感ではない。それは別の形の無邪気さだ。成熟とは、要求が厳しいことだ。誰に、どの程度、何と引き換えに信頼を与えているかを知ること、そして何よりも、自分で決めることなく誰かに信頼を与えている時にそれに気づくことだ。

人生において白黒はっきりしていることはほとんどない。ほとんどすべては中間のグレーの中に存在し、グレーの中を進む方法を学ぶことは、判断力を持つことの大部分を意味する。唯一の例外は、工場出荷時に正しく作られているもの、つまり設計上、すでに話すことを決めた相手以外誰も信頼する必要がないものだ。それ以外——そのほかのすべて——は、どれだけ、誰を信頼するかという問題だ。

編集後記：この「Cuadernos」で企業名や製品名を挙げているのは、決して非難するためではありません。それらを構築している人々は、何百万人もの人々に利用され愛される素晴らしい仕事をしています。私たちが指摘しているのは構造的な問題であり、ブランドではなくモデルの問題です。読者に馴染みがあるため、例としてブランド名を挙げているに過ぎません。

参考文献および関連資料

- OSINT (オープンソース・インテリジェンス) — すでに公開されているデータから情報を収集すること。侵入やスパイ行為ではない。
- Reglamento (UE) 2016/679 (RGPD) — 個人データの取り扱いに関する規則。個々には公開されていたデータの集約も含まれる。

- 公的記録（企業、司法、不動産） — ヨーロッパのほぼ全域における、合法的で豊富な個人情報の源。
- この同じシリーズの中で、エンドツーエンド暗号化と「署名では直せないもの」に関するノートが、別の角度から同じアイデアを展開している。

[← 前へ署名では解決できないこと](#)

最近の記事

- [考察・2026年5月27日 署名では解決できないこと](#)
- [分析・2026年5月26日 真のプライバシー vs 表向きのプライバシー：問い直すべきこと](#)
- [分析・2026年5月25日 専門的実践としてのセルフホスティング](#)

この記事ダウンロードして、必要な場所で活用してください。

[↓ Markdown](#) [↓ テキスト形式](#) [↓ PDF](#)

ファイルはお使いのデバイスにダウンロードされます。そこから保存、Solo2 へのインポート、または任意の場所での共有が可能です。Cuadernos が送信先を決定することはありません。

封蝋・SHA-256 c90678e5f294d9b14cba5c375446ac72030e66439a772677028df01f2f3c0095

[機能](#) [最新情報](#) [ブログ](#) [ヘルプ](#) [概要](#) [お問い合わせ](#)
[透明性](#) [検証](#) [プライバシー](#) [利用規約](#) [Cookie](#)

Cuadernos Lacre · [Menzuri Gestión S.L.](#) による刊行物 ·

著者：R.Eugenio · 編集：[Solo2](#) チーム

このウェブサイトはクッキーを使用しません。ブラウザが読み込むものはすべて私たちが記述または監督したもので、欧州の自社サーバーでホストされています。すなわち、匿名の訪問者カウンター（Umami、自社ホスト）と、言語セレクターおよびあなたのライト/ダークテーマ設定に必要な最小限のJavaScriptであり、その設定はあなた自身のデバイスに保存されます。外部企業のリソースなし、トラッカーなし、プロファイリングなし、データ共有なし。購読をご希望の場合：[RSS](#)。